



南十字星

2022年度 第7号

令和4年11月9日

クイーンズランド補習授業校

ゴールドコースト校

校長 直塚 裕典

E-mail: jschoolgc@jsgc.org.au

子ども達の頑張りに感謝！実り多い補習校祭り！！



先週の補習校祭りには、たくさんの保護者の皆様に来ていただき、ありがとうございました。子ども達は、保護者の皆様の笑顔を見てとても張り切っていました。とても嬉しかったのではないのでしょうか。午前の部はネアンシアターで学習発表会を行いました。どの学年も子どもの発達段階に応じて工夫した学習発表会だったと思います。保護者の方から、「わが子の成長を見て涙が出ました」という言葉もいただきました。午後の部はタレントショーや模擬店、ゲームコーナーなどで大盛況でした。子ども達が学校行事を通して、大きく成長しているのを感じた一日でもありました。

今年の補習校祭りは時間がない中で、先生方と子ども達が一つになって学習の成果をつくり上げようと努力した結果、クラスの一体感が生まれたのだと強く感じました。そして、家庭での練習の後押しなどでのご協力のおかげだと感謝申し上げます。子ども達が楽しいひと時を過ごしている姿も、補習校の一年を通してとても大切な時間ではないかと思いました。最後に、子ども達のために準備をいただいた運営委員や保護者会役員の皆さま、そして家族みんなで参加して下さった保護者の皆さま、本当にありがとうございました。

【午前のステージ発表】

どの学年も素晴らしい発表でした。発達段階に応じた学年のカラーが出ていて、一人一人を大切にした発表だったと感心しました。4月からの約8か月で大きく成長した姿を見ることが出来ました。幼稚部・小学部の発表を見ていて、日頃のきめ細やかな授業の延長線上にこの学習発表会があることを改めて認識できました。中学部は、中学生らしく落ち着いた堂々とした発表でした。中学3年生は最後の補習校祭りでしたが、しっかりと最後を飾ってくれました。それでは、一日を写真で振り返ってみましょう。

【はじめの言葉】【開会の言葉】

【小学3年 「勇者達のぼうけん」】



【小学2年 「ジャンポリGC」】

【小学5年 「小5の俳句会」】



【小学1年 「うたっておどって なかよいちねんせい」】 【小学4年 「10才のありがとう」】



【小学6年 お芝居「はっぴきのかえる」】

【幼稚部 「えんとつ町のプペル」】



【中学1年 「みんな de クイズ」】

【中学2年 「未成年の主張」】



【中3 昔話裁判「3匹の子ぶた」】

【先生たち 「愉快的先生たち」】



【全校合唱 校歌「輝く未来へ」】

【おわりの言葉・講評】



【午後のタレントショー・模擬店・ゲーム】

「タレントショー」には、子ども達がたくさん出演してくれました。ピアノ演奏やバイオリン演奏、ダンス、空手の型の披露、弾き語りなど、どれも見ごたえがあり、子ども達の特技の披露に感心させられました。「模擬店やゲームコーナー」には、保護者の皆様の「愛情いっぱいのお店やアイデアあふれる企画」が並び、子ども達も時間を忘れて楽しんでいました。子ども達が出したお店も大盛況で、長蛇の列でした。保護者の皆さま、お世話になりました。

【特別出演】～和太鼓「翔」～
ご出演、ありがとうございました！



【午後の部のスタート 10 回目】

補習校祭りの午後には、午後の部がスタートして 10 年目の節目を迎え、最初にスタートされた当時の保護者会長のブディーニ裕子様に来ていただき、スタートしたきっかけのスピーチをしていただきました。お忙しい中にお越しいただき、ありがとうございました。



【タレントショーの様子（一部掲載）】



【模擬店・ゲーム・ラッフルの様子】



【学校長より】

補習校祭りのステージ発表を見ながら、子ども達一人一人の成長を感じ、感無量の思いでした。

これもひとえに、労を惜しまず頑張ってくれる先生方とそれをサポートして下さる保護者の皆様や運営委員会・日本人会の皆様のバックアップがあってこそだと強く感じました。子ども達が日々成長していく姿は、教員として大変喜ばしいことです。今後も子ども達の成長を願い、保護者の皆様と協力していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

3・4学期の主な予定

1.1月19日 授業参観日（幼稚部のみ 12/3）、入学説明会

1.1月26日 社会科学習日、文集原稿締切

1.2月 3日 幼稚部・小1 入試面接

1.2月10日 第3学期終業式

～ 夏休み ～

1.1月21日 第4学期始業式

2.2月 4日 かるた・百人一首大会

3.3月18日 卒業式



三学期の全校朝会スピーチより

全校朝会のスピーチから

中学部3年 諫山 小太郎くん

みなさんもう十月ですね。十月と想像したらみなさんは何を想像しますか。僕は最初にハロウィンを思いつきました。みなさんはハロウィンの起源を知っていますか。今回のスピーチのためにハロウィンの起源を調べてきました。ハロウィンの起源は、起源前のケルト民族にまでさかのぼります。古代ケルトでは11月1日が新年で、前夜の10月31日から、秋の収穫物を集めてお祭りが開かれたらしいです。またこの日には、死後の世界との扉が開き、先祖の霊が戻ってくるとも信じられていました。日本でいえば大みそか、秋祭り、お盆が一度に来るようなものだったのです。その後ケルト民族はキリスト教化していきますが、祝祭（しゅくさい）の習慣は残りキリスト教会11月1日を諸聖人の日を意味するAll Halloと定められたことからその前夜はAll Hallo Eveが転じてハロウィンと呼ばれるようになったと考えられます。今回のスピーチではハロウィンの起源を短く説明しました。僕は最近ハロウィンに参加していません。最後にハロウィンに参加したのは、ブルームで小5のころです。その時はブルームのお菓子がいっぱいもらえる地区に大勢で行ってお菓子をいっぱいもらいました。みなさんはハロウィンの思い出はありますか？これでスピーチ終わります。

全校朝会のスピーチから

中学部3年 井ノ本 幸大くん

おはようございます！今、日本は秋らしいですよ。やっぱり秋といえば月がきれいになりますね。先々週は十三夜と言って別の十五夜みたいのがありましたね。そこで今日は月のあるお話について話そうと思います。そう、それは月ウサギのお話です。月には玄武岩という黒い石があってそれを地球から見ると色が濃く見えるのですね。それを昔の人はウサギが餅つきをしているように見えたらしいです。しかし、ウサギが付きで本当に餅つきをしていたらどうなるでしょう？

月はまず空気がありません。つまりウサギが死んでしまいます。それどころかもち米や臼を作る木も月じゃ作れません。もしそれがあったとしても別の問題があるのです。杵を振るとき、自分の力と杵にかかる重力で持ちをたたくのですが、月は重力が少ない。つまり重力がない分自分の力でもっと強くたたかないといけません！普通にたたくのも結構重いのですよ。餅って。つまり月ウサギは力・モチ・ってことですね。さらに！餅つきには返し手がいて返し手は餅を真ん中に寄せます。

その時、地球と同じ力で返したが最後、餅がすっ飛んでいきます。これじゃあ全然餅がつけません！しかし、月ウサギたちはそんなことにはならずちゃんと餅をついています。つまり、ふくらんだ顔の月ウサギは頭脳と力のモチ主でそれにより餅をつけているのですね。僕が最後に言いたかったことは、何でも興味を持って調べてみると面白いことがわかるということです。

全校朝会のスピーチから (日本語コンクールスピーチ優勝)



中学部3年 阿部 流暖さん

7月8日に発表された安部元総理大臣の銃撃事件には世界中の人が衝撃を受けました。しかも、安全である日本において銃を使用した事件でした。皆さんはどう思いましたか？ほとんどの方がショックを受けたのではないのでしょうか。確かに、事件を起こした犯人が一番悪いのですが、そのあと、様々な問題が出てきて国民も混乱していると思います。私はそれまで知らなかったのですが、安部元総理大臣は日本人の拉致問題に力を入れたり、海外の大統領とも信頼関係を深めたりしていたそうです。日本にとって偉大な人をなくしてしまったと思います。私は日本が大好きなので、安全な日本でこのような事件が起きたことが世界中に広まるというのはとても悲しいことだと思いました。しかし、この事件が起きたことによって国民一人一人が安全な国とは何か？と考え直す時間を与えられたのではないかと思います。ご清聴ありがとうございました。

中学3年生のスピーチを聞けるのもあと何回だろう。いつも楽しみにしています。どの生徒も自分でしっかりと考え、自分の言葉で語ってくれています。補習校での成長を感じています。卒業後がとても楽しみです！

